

授 業 科 目 名	算数科教育法Ⅱ	教 員 名	渡 邊 耕 二	免 許 ・ 資 格 と の 関 係	小学校教諭	選択必修
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	演 習	担 当 形 態	単 独	卒 業 要 件	保育士	
科 目 番 号	SID308	配 当 年 次	3 年 前 期		こども音楽療育士	
単 位 数	2 単 位			小 幼 コース	選択必修	
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）					
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）					
一 般 目 標	算数科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された算数科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。  (1)算数科の目標及び内容 学習指導要領に示された算数科の目標や内容を理解する。 (2)算数科の指導方法と授業設計 基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。					
到 達 目 標	(1)算数科の目標及び内容 1)学習指導要領における算数科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 2)個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 3)算数科の学習評価の考え方を理解している。 4)算数科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。 (2)算数科の指導方法と授業設計 1)子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 2)算数科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し、授業設計に活用することができる。 3)学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 4)模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。					
授 業 の 概 要	授業研究は、教材研究（Plan）、研究授業（Do）、授業検討会（See）、授業改善（Action）という4つの流れを持つ、授業改善を促す校内研修の一つである。まず、実際の授業の視聴を通じて、教師の立場から授業を分析し、授業と指導案の関係を理解する。次に、授業作りに向けて、授業の目的と授業展開のつながり、板書や発問などの授業技術と学習形態について理解する。続いて、授業を作る単元を選択し、その教材研究を通じて指導案を作成する。そして、その指導案を用いて研究授業を行い、授業検討会を通じて指導案を再考し、授業改善に繋げ、再度研究授業を実施する。最後にその効果の検討を通じて、授業研究の4つの流れの意義と役割を実践的に習得する。 アクティブラーニングとして振り返り、レポート等を取り入れる。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5.教育実践力を身につけている。」「6.教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	第1回：授業研究について 授業研究の意義と一連の流れについて解説する。（目標(2)-1） 第2回：授業参観1（授業の視聴と分析） ビデオ視聴を通じて授業を分析する。（目標(2)-1,2） 第3回：授業参観2（授業と指導案の関係性） ビデオ視聴を通じて授業と指導案の関係性を分析する。（目標(2)-2,3）					

	<p>第4回：授業作り1（授業の目的と授業展開） 指導案を通じて、授業の目標とその達成に向けた授業展開を検討する。（目標(2)-2,3）</p> <p>第5回：授業作り2（板書・発問・机間支援） ビデオ視聴を通じて、板書計画と発問の仕方および机間支援の意義と方法を検討する。（目標(2)-2）</p> <p>第6回：授業作り3（学習形態） 協働学習と算数的活動を用いた実践例から学習形態を理解する。（目標(2)-2）</p> <p>第7回：学習指導案作成1（単元の選択と目的の設定） 単元の選択から教材研究を行い、授業の目的を設定する。（目標(2)-3）</p> <p>第8回：学習指導案作成2（授業展開と学習形態） 授業の目的に応じた授業展開を作成し、学習形態を決定する。（目標(2)-3）</p> <p>第9回：研究授業と授業検討会1（導入部分） 授業の導入部分に絞って研究授業を行い、授業検討会を実施する。（目標(2)-4）</p> <p>第10回：研究授業と授業検討会2（展開部分） 授業の展開部分に絞って研究授業を行い、授業検討会を実施する。（目標(2)-4）</p> <p>第11回：授業改善（指導案の再考） 第9回と第10回の授業検討会をもとに、指導案を再考する。（目標(2)-3,4）</p> <p>第12回：研究授業と授業検討会3（導入部分） 授業の導入部分に絞って研究授業を行い、授業検討会を実施する。（目標(2)-3,4）</p> <p>第13回：研究授業と授業検討会4（展開部分） 授業の展開部分に絞って研究授業を行い、授業検討会を実施する。（目標(2)-3,4）</p> <p>第14回：授業改善の効果 児童の視点に立ち、授業改善の前後の違いを把握し、その効果を検討する。（目標(2)-4）</p> <p>第15回：授業研究のまとめ 授業研究の4つの流れを確認し、それぞれの意義と機能を整理する。（目標(2)-1,4）</p> <p>期末試験：試験期間中に実施する。</p>
学生に対する評価	<p>期末試験（50%）、レポート（30%）、発表の内容（20%）を総合して評価する。</p> <p>なお、レポート・答案等の提出物へのフィードバックについては、以下の方法等による。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コメントを記載して返却する。</li> <li>・授業またはオフィスアワーに、口頭で行う。</li> <li>・答案例を配布する。</li> </ul>
時間外の学習について	<p>（事前・事後学習として週4時間以上行うこと。）</p> <p>講義内容に関するレポートなどを課すので、解答して正解を確認した上でファイルし、振り返りの参考とすること。</p>
テキスト	<p>必要に応じてプリントを配布する。</p>
参考書・参考資料等	<p>『小学校学習指導要領（最新版）』</p> <p>『小学校学習指導要領（最新版）解説 算数編』</p> <p>『算数・数学授業研究』 清水・磯田・大久保・馬場監修（明治図書）</p> <p>『算数授業研究』 筑波大学附属小学校算数研究部（東洋館出版社）など、その他授業の中で適宜紹介する。</p>
担当者からのメッセージ	<p>授業の質を高めるために、授業研究は不可欠なものです。算数Ⅰ・Ⅱ、算数科教育法Ⅰで学修したことをきちんと復習し、実践力を身に高められるように、授業に積極的に望んでください。</p>
オフィスアワー	<p>毎週金曜日 9:00～12:00</p>